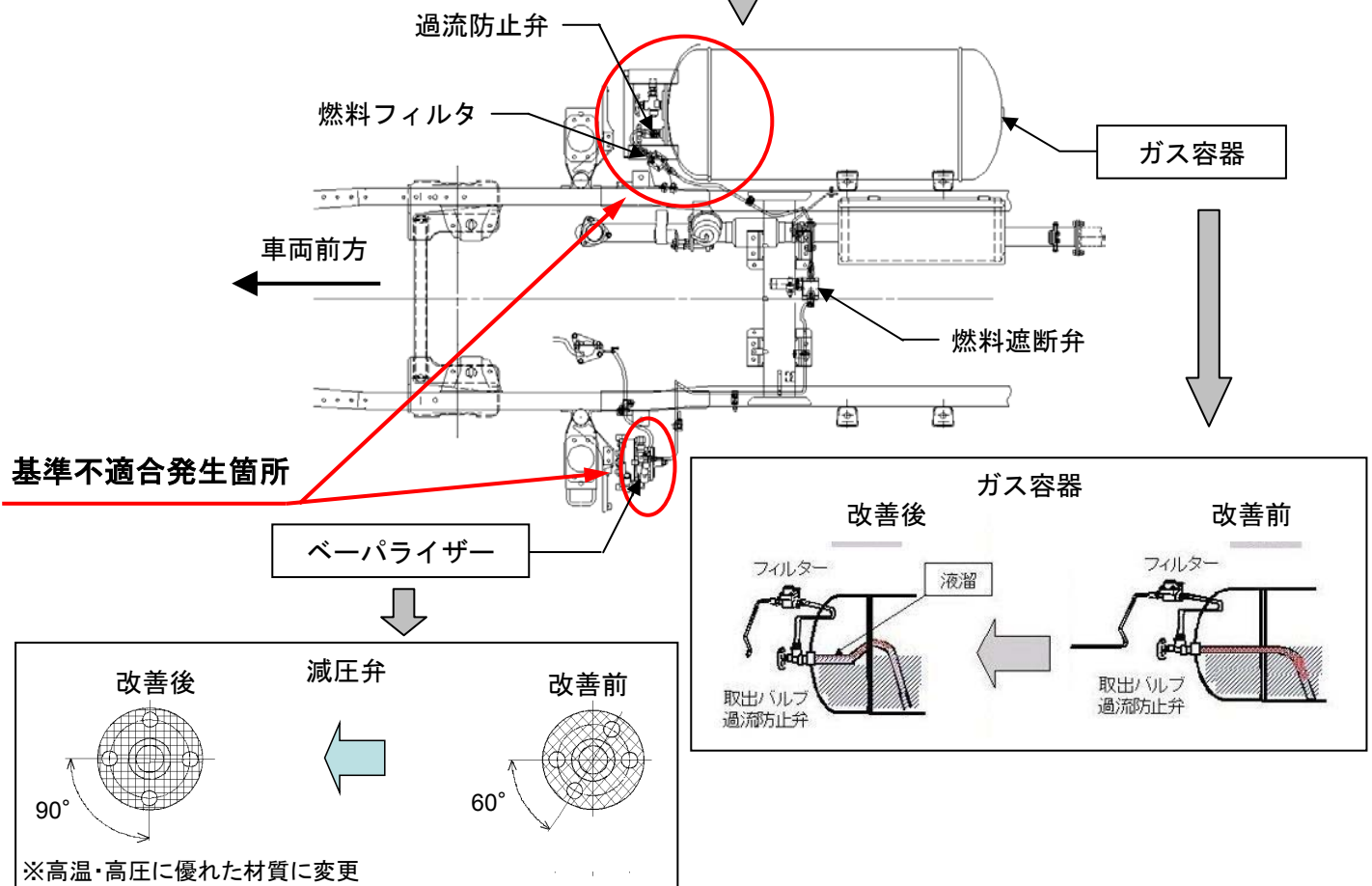


改善箇所説明図



液化石油ガス（LPG）車の燃料装置において、

- ①ガス容器内部の配管構造が不適切なため、エンジン停止後に温度上昇により燃料遮断弁前の燃料圧力が高くなったとき、エンジン再始動時に燃料が急激に流れ過流防止弁が作動し、エンジンが再始動できなくなるおそれがある。
- ②不適正な燃料を使用するとベーパーライザー内の減圧弁に高い圧力がかかるため気密不良となり、エンジン始動時に燃料が急激に流れ過流防止弁が作動し、エンジンが始動できなくなるおそれがある。

改善措置の内容
 全車両、ガス容器を対策品に交換するとともに、ベーパーライザーを確認し、改良品が装着されていない場合は改良品に交換する。
 また、自動車用オートガスの使用の徹底と過流防止弁作動時の処置方法を記載したコーションプレートをガス容器カバーに貼付する。

注：□ は、交換部品を示す。
 識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラーストラライカー付近に「LT-59」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。